

# 神奈川県議会議員選挙選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



立憲民主党公認  
県会候補  
いちかわ さとし

## 市川さとし

「子は社会の宝」  
自分を愛する事が出来なければ、他人を愛する事もできない。自分を愛する人を作ることがこれからの教育に課された課題だと思えます。基本的には子供の養育は親の責任ですが、子供の成長過程における社会環境の整備は行政の責任です。虐待など幼い子供の命が奪われる事例の多さに対して今の社会のありようが問われています。子どもはやがて成長して、社会に貢献できる人たちとして将来、社会で活躍できる人たちなのです。この磨けば光る宝を社会の宝として、この社会づくりに必要です。そのために社会システム構築には行政が最大限の努力を払わなければならないと考えます。

【カジノ誘致に反対します】  
・経済効果を求めるカジノ誘致は、ギャンブル依存症の増加、治安の悪化など地域や市民生活に悪影響を及ぼします。  
・カジノ誘致に「反対」し、子どもから大人まで安心して利用できる独自の自然・歴史・観光資源などを活用した地域づくり、産業振興をすすめます。

【原発をゼロに、再生エネルギーの拡大をすすめます】  
・2011年の東日本大震災時に発生した原発事故は、原発に安全はないことを証明しました。そのため、原発にかわる自然に優しいエネルギーや地域再生エネルギーの活用拡大、効率的な運用で「原発ゼロ」に取り組みます。

【オンラインで輝く「安心・安全の社会」の実現をめざします】  
①一人ひとりが活躍する、人づくりに取り組みます。  
②いじめや虐待をストップする支援を強化します。  
③多様な人材の育成に努め、各自の能力が発揮できる仕事や職場の確保をはかります。  
④「磯子地区の特性をいかした、まちづくり」をすすめます。  
⑤全区にバス路線を整備し、駅ターミナルに駐輪場の増設をすすめます。  
⑥各地域の特性や地勢を生かして地場産業を育成し、活気あふれるまちづくりをすすめます。  
⑦次世代に誇れる、未来つくりに取り組みます。

⑧中学校給食の実施に取り組みます。  
⑨子供から高齢者まで安心・安全の「住環境の整備」や「地域へのヘルプ」を推進します。  
⑩子育て世代を支援するため、「こども園」や「保育所」、「幼稚園」の整備をすすめます。  
⑪介護・福祉・医療など日常生活に支障をきたす高齢者の方々の生活支援・負担軽減に取り組みます。

**(磯子区)市川さとしプロフィール**  
 ◇昭和42年1月16日生まれ磯子区育ち  
 ◇横浜市立根岸小学校卒業 ◇横浜市立根岸中学校卒業  
 ◇私立横浜高校卒業 ◇浅野工学専門学校卒業 コンクリート土木科  
 ◇平成2年ビルメンテナンス会社設立 (清掃業・警備業・設備管理業)  
 ◇高齢者NPO理事  
 ◇横浜市磯子区内小学校PTA会長 ◇磯子区消防団員  
<https://satoshi-ichikawa.amebaownd.com>

これまでも、これからも誠実に  
**かやの誠** 神奈川を考える

- ・知育、徳育、体育の調和ある心の教育を重視
- ・潤いある豊かな生活と人にやさしい街づくり
- ・医療人材の確保と福祉現場の充実
- ・安全・安心な防災に強い街づくり
- ・お金をかけない、かからない政治の実現



## かやの まこと 誠

『子は社会の宝』  
自分を愛する事が出来なければ、他人を愛する事もできない。自分を愛する人を作ることがこれからの教育に課された課題だと思えます。基本的には子供の養育は親の責任ですが、子供の成長過程における社会環境の整備は行政の責任です。虐待など幼い子供の命が奪われる事例の多さに対して今の社会のありようが問われています。子どもはやがて成長して、社会に貢献できる人たちとして将来、社会で活躍できる人たちなのです。この磨けば光る宝を社会の宝として、この社会づくりに必要です。そのために社会システム構築には行政が最大限の努力を払わなければならないと考えます。



**一生懸命**  
議員として頑張る

昭和28年生れ  
横浜市立間門小学校卒  
聖光学院中・高卒  
中央大学法学部卒  
神奈川県議会議員5期  
立憲民主党・民権クラブ  
県議団所属  
国民民主党籍

誰もが安心して笑顔で暮らせる街、磯子。  
「夢と希望のある神奈川」をめざします。

子どもも大人もお年寄りも、病気や障がいのある人も、元気で安心して暮らせる地域にしたい。みんなで支えあえば、一人で不安を抱えることもなくなるはず。 「ひとりで何もかも背負い込まず地域の中で共に助け合う」 そんな支えあい・助け合いの地域づくりを目指します。

- 1. ともに生きる社会の実現へ**  
女性、男性、子ども、高齢者、障がい者、外国人など、多様な価値を生み出せる人々の多様性が尊重され、その人らしく暮らし、活躍できる地域社会を実現します。
- 2. 安心できる医療・福祉の充実へ**  
超高齢社会を幸せに生きるには特定の疾患の予防・治療にとどまらず、心身の状態を整え改善することで生活習慣病や要介護状態を防ぐ健康寿命の延伸が重要と考えます。誰もが安心して暮らせる福祉・医療体制の構築を進めます。
- 3. 未来を担う子どもを守る**  
核家族化や地域の関係の希薄化、インターネットなどにより情報が氾濫するなど子どもを取り巻く環境も大きく変化しています。次の世代を担う子ども達が健やかに安心して育ち、また子どもを持つ親が子どもを安心して育てていく取り組みを進めます。
- 4. 安全・安心なまちづくり**  
少子高齢化が進む中、今後、地域社会における共助の役割が大きくなると考えられます。災害時における要援護者対策など高齢者を地域ぐるみで支援することも重要な課題です。災害に強く安全なまちづくりを進めます。
- 5. 地域経済の活性化へ**  
昨今の経済状況、少子高齢化や大都市への人口集中による地域格差の広がりにより、多くの地域経済は厳しい状況に置かれています。日本全体が元気になるためには、地域経済がもっと活性化する必要があります。個人商店から中小企業まで地域経済の活性化を目指します。
- 6. 夢と希望にあふれた磯子区**  
地域の賑わいの場として掘割川護岸の親水施設の整備を進め、子どもから高齢者まで水に親しめる場を作ります。また、大規模自然災害が多発する中、急傾斜地が多い磯子区の崖対策にハード・ソフトの面から整備を進めます。

**プロフィール**  
 ●昭和43年磯子区生まれ ●横浜雙葉小・中・高等学校卒業 ●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業 ●日商岩井株 / 株メタルワン ●自民党かながわ政治大学校12期生 ●平成23年神奈川県議会議員選挙初当選(2期連続)  
 ●県民・スポーツ常任委員会委員長・ともに生きる社会推進特別委員会委員長・厚生常任委員会・県民企業常任委員会委員 等歴任 ●自民党神奈川県連/女性議員局長・政務調査会副会長・横浜市磯子区第2支部長・組織本部副部長 他



## 自民党 あらい きぬよ 絹世